

JTAA-KANTO 2020

関東支部 会員集会

A CONFERENCE OF JTAA KANTO

2020年5月27日(水)

<2019年度の活動報告・2020年度の活動計画>

2019年度

- I. 支部活動の一般報告
- II. 各部会報告
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 会員活動部会
 5. 広報部会
 6. 組織運営部会

2020年度

- I. 支部活動方針
- II. 各部会活動計画
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 会員活動部会
 5. 広報部会
 6. 組織運営部会

「参考」講座・研修会等実績表、研修計画一覧表

<2019年度の収支報告・2020年度の収支予算>

- I. 2019年度収支報告および2020年度収支予算
- II. 貸借対照表
- III. 監査報告

<支部運営委員・監事名簿および機構図>

- I. 支部運営委員・監事・顧問名簿
- II. 2020年度 関東支部機構図

「参考」関東支部資格別・県別会員数

2019年度活動実績 および 2020年度活動計画

【2019年度の活動報告】	【2020年度の活動計画】
<p>I. 支部活動の一般報告</p> <p>交流分析の普及であります県別紹介講座、出前講座の充実を図りましたが、社会状況などにより、予定したようには進めませんでした。そのような中においても、県別紹介講座の講師をキャリアの若い指導員が出てきてインストラクションのスキルアップとしては成果をあげることができました。</p> <p>支部主催2級・1級資格講座の受講者の増加に向け支部の課題はありますが、支部2級講座担当講師のスキルアップもでき受講生からの要望に応えることができました。</p> <p>TAカレッジを1県に最低1か所立ち上げ、関東エリア内どこでも受講できる体制ができつつあります。</p> <p>II. 各部会活動報告</p> <p>1. 普及部会</p> <p style="padding-left: 20px;">普及推進活動</p> <p>1) 県別紹介講座</p> <p style="padding-left: 40px;">県別紹介講座を次のとおり、合計5回実施し、95名の参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月 栃木県 43名 長野県 5名 ・ 10月 神奈川県 13名 ・ 11月 長野県 20名 茨城県 14名 <p style="padding-left: 40px;">※3月開催予定であった県別紹介講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。講座開催にあたっては、企画、準備、当日の運営、講師など活動全般にわたり、各県の指導員を中心とした運営スタッフによって実施しました。</p> <p style="padding-left: 40px;">関東支部「県別交流分析紹介講座」実施要項の改定案を作成し、2020年3月に改訂版を発行しました。</p> <p>2) 入門講座</p> <p style="padding-left: 40px;">交流分析を初めて学ぶ方を対象に入門講座を3回開催し、13名の参加がありました。</p> <p style="padding-left: 40px;">(5月2名、7月6名、9月5名 合計13名)</p> <p style="padding-left: 40px;">テキストとして「現代の交流分析(基礎)」を使用し、1日コースで5時間。</p> <p>2. 研修部会</p> <p style="padding-left: 20px;">研修会企画・運営の充実の取り組み結果について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 理論研修会の周知について、ホームページ・メールマガジン・チラシ・認定試験・定例会で告知を行いました。 ② 交流分析理論の実践的な活用を企画し、「AI時代のTA活用術」「エゴグラムの読み方 基礎編」「エゴグラムの読み方 応用編」「“こころ”の断捨離」講座を実施しました。 ③ 交流分析をさらに深める研修として、「人格適応論に関する講義とワーク」特別セミナーの中級編を2日間コースで実施しました。 ④ 2020年3月に実施の予定であった「自我状態の迷宮を探索」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。 	<p>I. 支部活動方針</p> <p>交流分析の普及について引き続き、県別紹介講座、出前講座の充実を図り一層の取り組みを進めます。そのためには、SNS等を活用し、視覚に訴えることをしていきます。</p> <p>支部主催の講座を対面だけでなく、Web講座も本部の指導のもと計画をしていきたいと考えており、そのために、講座担当の講師のWeb対応の勉強会も開催していきます。</p> <p>TAカレッジは現在25か所ほど立ち上げていますが、1県最低一か所立ち上げ受講者が関東エリアどこでも受講できるようにします。</p> <p>2019年度赤字決算に対して、喫緊の課題として財政赤字の改善に取り組みます。支出の現状把握を行い、収支バランスをより意識した組織運営が行えるよう、問題点・改善点を抽出し、今後の支部運営に反映すべく取り組んでまいります。</p> <p>II. 各部会活動計画</p> <p>1. 普及部会</p> <p style="padding-left: 20px;">普及推進活動</p> <p style="padding-left: 40px;">『交流分析および協会の社会的認知度の向上を進めます』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 交流分析紹介講座を各県の会員が主体となって企画・実施することにより、新会員獲得と既存会員同士のコミュニケーション向上を図ります。各県1回以上の実施を目標とします。 2) 地域指導員のメーリングリストや、Facebook・Twitter(ツイッター)などのSNSを活用し、会員の交流を通じた地域での活動や普及の活性化を図ります。 3) 交流分析を分かりやすく学べる入門講座(年2回)を実施し普及を図ると共に、TAに興味を持ってもらい、2級講座の受講につなげるための入門講座にしていきます。 4) 他の部会との連携を強化し、紹介講座、入門講座の質を高め、ホームページやSNSを媒体とした宣伝に注力することで受講者数の増加を図り、新規会員の獲得を促進します。 <p>2. 研修部会</p> <p style="padding-left: 20px;">理論研究活動</p> <p style="padding-left: 40px;">『研修企画・運営の充実を図ってまいります』</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 理論研修会の内容・日時の周知徹底を行い、また昨今の新型コロナウイルスの影響を考慮しながらWebの活用なども試みて多くの方に受講いただけることを目指します。 ② 交流分析理論を仕事やプライベートにおいて活用できる実践的な内容にした研修会を企画、運営いたします。 ③ 認定試験の支援を行いません。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 9月26日、27日 1級、2級試験にて会場係担当 2) 2021年3月27日、28日 1級、2級試験にて会場係担当

【2019 年度の活動報告】	【2020 年度の活動計画】
<p>3. 指導会員部会</p> <p>指導会員の理論研究・スキルアップを目指した相互研修会について</p> <p>① インストラクターとしての知識スキル向上の場として、インストラクター定例会を7月14日に開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3月8日のインストラクター定例会は中止しました。</p> <p>② インストラクター資格更新研修会を8月4日と2月15日に実施しました。</p> <p>4. 会員活動部会</p> <p>1) 各サークルの実施状況について 今年度最後の2か月間で予定されていたミーティングや講座が、開催できない状況がありました。</p> <p>① <地域活動>カウンセリングサークル ミーティングを7回開催し、調布市男女共同参画推進フォーラムに1日参加しました。</p> <p>② <福祉活動>TAセラピーメイクサークル 高齢者施設を4回訪問し、利用者さんへのボランティア活動を積極的に行いました。TAセラピーメイクのスタッフ向け講座の具体化に向けて検討しました。</p> <p>③ <教育活動>教育サークル ミーティングを4回開催し、特に「質問紙エゴグラムSHE」の知見を深めるよう、中でも「励ましのメッセージ」の検討を重ねました。</p> <p>④ <家庭活動>家庭サークル ミーティングを1回開催しました</p> <p>2) サークル情報交換会について 2020年、サークル活動が発足して10年を迎える節目となるため、今回は各サークル長とサークル規定の見直しや活動状況・他部会との連携などについて情報交換会を実施しました。</p> <p>3) サークル活動への支援 各サークル活動の見守り、経費への対応などをしました。また、インストラクター定例会などで、各サークル活動の紹介を行いました。</p> <p>4) 自主勉強会について 新たに結成させたい自主勉強会の相談を受けました。</p>	<p>3. 指導会員部会</p> <p>『指導会員の理論研究・スキルアップを目指した相互研修会を進めます』</p> <p>① インストラクター定例会を年2回開催します。定例会を通して指導会員の方々へのインストラクターとしての知識・スキル向上の場としていきます。 インストラクター定例会が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催されない場合も、オンラインでの実施を目指します</p> <p>② インストラクター資格更新研修会を年2回実施し、指導会員の皆様が受講しやすい環境を整えます。</p> <p>③ インストラクターの学びを様々な活動に活かせるよう、発信して参ります。</p> <p>4. 会員活動部会</p> <p>『既存のサークル活動を強化し見守り、多様なサークル（特に産業や社会におけるサークル）の発足を目指します。』 『自主勉強会を応援し、身近な学習機会を増やします』</p> <p>1) サークル活動は、“円滑な人間関係・心の健康づくり”をテーマに、各分野での開催を計画します。</p> <p>① 地域活動——カウンセリングサークル ② 福祉活動——TAセラピーメイクサークル ③ 教育活動——教育サークル ④ 家庭活動——家庭サークル</p> <p>2) サークル情報交換会について 年1回サークル長の情報交換会を開催し、各サークル間の情報共有・意見交換の場を設けます。</p> <p>3) サークル活動への支援 サークル活動の広報活動を強化し、入会募集や新規サークルの立ち上げを進めます。</p> <p>4) 自主勉強会活動への支援について 活動状況を『会員活動報告集』や年次大会などの発表につなげて、自他ともに研鑽・向上を目指します。 また、ホームページやメールマガジンなどで活動状況を掲載します。</p>

【2019年度の活動報告】

5. 広報部会

- ① 年度を通じてより早い情報発信を心がけ、わかりやすく使いやすいHPを目指して改善を重ねました。
- ② TAカレッジの紹介からの申し込み・支部講座・資格講座への申し込みと支払いを一元化し、すべてホームページ上で行えるようにしました。
- ③ 新たなイベント管理システムを採用し、申し込み・支払い・管理などの面でより利便性が向上しました。
- ④ 新しいカラフルで機能的なメールマガジンを月に2回のペースで発行しました。
ホームページ・メールマガジンの充実によってペーパーレス化を推進しました。

6. 組織運営部会

1) 資格講座充実の取組みについて

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2月以降の紹介講座の開催が中止となり、厳しい結果となりました。
- ② 入門講座を4回計画しましたが、3回の開催に留まり、合計受講者数も13名と低調に終わりました。

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集第九集への投稿拡大と内容充実を図るため、9月1日に「活動記録の書き方講座」を実施しました。会員活動報告集については、活動報告集の投稿に加え支部主催の理論講座参加報告書や感想文を掲載したことにより、より身近に感じられる会員活動報告集に仕上がりました。

3) 社会貢献活動の取組みについて

出前講座（12団体）および受託講座（3団体）による、自己理解と対人関係の支援に取り組みました。

4) 支部活動の強化と財政赤字の改善への取組み

- ・ 厳しい財政下ではありましたが、理論研修会は「受益者の応益負担原則」を基本といたしました。
- ・ 運営委員の各種会合に事務所を積極的に利用するなどして、支部の経費節減に努めました。

【2020年度の活動計画】

5. 広報部会

『会員の皆様に情報が早く・正確で・わかりやすく・使いやすいカタチで届くように改善を続けます』
更に使いやすいホームページ・メールマガジンを提供し、Web講座やSNSなどインターネット・コミュニケーションを活用した会員サービスの充実や一層のペーパーレス化など支部運営の合理化に寄与します。

- ① 講座・研修会の申し込みと支払い方法の改善に取り組みます。
- ② 各部会との連携を強化しその活動を支援します。具体的にはスピーディーなHPの更新など会員の皆様への広報を通じて各部会の活動をサポートします。
- ③ Web講座の仕組みづくりを進め、新型コロナウイルス感染拡大の状況下でも継続的な会員の学びの機会が維持できるようサポートします。
- ④ 会報内容の充実と定期発行に取り組みます。
- ⑤ 関東支部所有の価値ある文書を活用していただけるよう、引き続き電子書籍の研究に取り組みます。
- ⑥ 「まんがでわかる交流分析」の続編の作成をします。
- ⑦ 会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報を目指していきます。
- ⑧ パンデミックや災害などへの対策として、スムーズな引き継ぎのため、委員の複数分担制を進めます

6. 組織運営部会

『公正な会員メリットを追求し、効率的で効果的な運営を目指します』

1) 資格講座充実の取組みについて

喫緊の課題である2級・1級資格講座の受講者増に向けての対策については、引き続き入門講座・県別紹介講座の取り組み強化を通じ、さらなる学習意欲の喚起につながるよう努めます。

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集への投稿者の拡大と内容充実に取り組むため、9月に「活動記録の書き方講座」を開催いたします。経費削減のため、会員活動報告集のペーパーレス化を検討します。

3) 社会貢献活動の取組みについて

出前講座（公的機関、教育・福祉団体等を対象、無料）および受託講座（一般企業等を対象、有料）を推進し、職場、学校、地域等への普及に取り組みます。

4) 「北海道エリアTA研究会」の取組みについて

道内会員の、理論研究と交流の機会拡大を目指した活動支援を行います。
・ 研修会講師の調整と派遣、自主勉強会の支援など

5) 支部活動の強化と財政赤字の改善について

- ① 事業活動の内容を検証し、費用対効果を勘案しながら実施します。
- ② 交流分析の普及に向けた支出については計画的に実施します。
- ③ 運営委員会のWeb会議方式の開催も積極的に進め、会議費や交通費の経費節減に努めます。
- ④ 発行する冊子や報告集などの電子化閲覧を推進し、印刷費を削減し財務改善に寄与します。
- ⑤ 資格講座の実施コース数の見直しと定員管理を進めます。
- ⑥ 新たな顧客を開拓し、受託講座を増やして利益創出を推進します。

2019年度県別紹介講座・出前講座等の内容一覧

県別紹介講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2019.6.2	とちぎ男女共同参画センターパーティ	自分を知り快適な関係づくりができる「会話のキャッチボール」	43	2.5H
	2019.6.30	小諸市市民交流センター	自分を知ればコミュニケーションがかわる	5	4H
	2019.10.27	神奈川県南幸自治会	自分を認めていますか？ 周りの人を認めてますか	13	2H
	2019.11.3	長野市もんぜんぷら座	自分のこころを自分でかわいがるヒント	20	2H
	2019.11.2・3	茨城県県南生涯学習センター	自分の子をもっとよく知ってみませんか？	14	2H
合 計 (9件)				95名	

出前講座	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
	2019.6.12	町田市民フォーラム ボランティア講習室	「対人援助技術」 ～自分を知って人との関わりを学ぶ～	30	2.5H
	2019.6.30	朝霞市中央公民館	エゴグラムで自分再発見！～子育てに活かす～	13	1H
	2019.7.25	市川市行政サービスセンター	交流分析心理学を活かした 生徒理解と保健室での活用	32	1.5H
	2019.8.8	パーソナルチャレンジ 大井町キャリアセンター	自分も相手も大切にコミュニケーション	18	1.5H
	2019.8.23	はだのこども館	アサーティブコミュニケーション	27	2.5H
	2019.9.5	飯山市常盤小学校 ランチルーム	子ども達の自己肯定感を高めるコミュニケーション	40	1.5H
	2019.9.25	ライフステージひびき	介護職の接遇マナー・ホスピタリティについて	27	1H
	2019.11.12	ひたちなか市男女共同参画センター	自分の強みを知って、円滑な人間関係を築く	20	1H
	2019.12.19	横浜地方裁判所第2会議室	リーダーシップ 組織内コミュニケーション	12	3H
	2020.1.8	パーソナルチャレンジ ミラトレ荻窪	就活・人生に役立つ エゴグラム～自己分析	14	2H
	2020.1.23	新百合トウエンティワンホール	介護支援専門員のコミュニケーション研修 ～交流分析を活用した自己覚知～	50	2H
	2020.2.25	嵐山町役場 町民ホール	障がい者とのコミュニケーションの取り方	30	1H
合 計 (22件)				313名	

受託講座	開催日	受注先	テーマ	参加人数	時間
	2019.6.14	公益財団法人 老年病院研究所	コミュニケーションで変わる職場の環境	60	1.5H
	2019.8.9	東海大学初等・中等教育課	「人間関係スキル・人間力強化」 自己変革のための3年プログラム	44	4H
	2020.2.1・8	(一社)日本産業カウンセラー協会 北関東支部	交流分析入門	19	12H
合 計 (2件)				123名	

2019年度 講座・研修会 実績一覧表

2019.4.1～2020.3.31

NO.	講 座	期 間	開催形態	受講者	備 考
1	2級講座 前期	6月～7月	日曜コース	5	
2		8月	集中コース	9	
3	2級講座 後期	12月～1月	集中コース	2	
4	1級講座 前期	6月～8月	土曜コース	8	
5	1級講座 後期	1月～2月	集中コース	6	
6	インスト養成講座 前期	6月～7月	A クラス	11	
7	インスト養成講座 後期	12月～1月	A クラス	8	
8	1・2級認定試験（東京）	9月	土・日曜日	41	1級11名・2級30名
9	1・2級認定試験（長野）	10月	土・日曜日	17	1級 6名・2級11名
10	1・2級認定試験（東京）	3月	土・日曜日	0	新型コロナウイルスで中止
11	会員研修会(AI時代のTA活用法)	5月・7月・8月	各1回	153	東京101名・長野40名 北海道12名
12	エゴグラムの読み方(基礎編)	6月	1回	10	
13	エゴグラムの読み方(アドバンス)	11月	1回	17	
14	活動報告の書き方講座	9月	1回	3	
15	理論講座(“こころ”の断捨離)	11月	1回	11	
16	理論講座(自我状態の迷宮を探索)	3月	1回	0	新型コロナウイルスで中止
17	特別セミナー(人格適応論・中級編)	2月	2回	50	延べ人数
18	インストラクター定例会	7月・3月	年2回	60	7月60名 3月新型コロナウイルスで中止
19	交流分析 入門講座	5月・7月・9月	年3回	13	
20	県別紹介講座	4月～3月		169	5県
21	出前講座	6月～2月		313	12件
22	受託講座	6月～2月		123	3件
	合 計			1,029名	
参考	インストラクター資格更新研修会	8月・2月	(本部主催)	96	10月56名 2月40名

2020 年度研修計画一覧表

2020 年 5 月 23 日現在

開催日時	研 修・講 座	ポイント
開催延期 5月17日(日) 13:00～16:00	研修会：「人生脚本をこれからの仕事や生活に生かす」 講 師：交流分析士准教授 網島 康高	1.0
開催延期 6月20日(土) 13:30～17:30	研修会：「エゴグラムの読み方（基礎編）」 講 師：交流分析士インストラクター 石川 任	1.0
7月18日(土) 10:00～16:00	☆インストラクター定例会	1.0
8月16日(日) 10:00～16:00	☆インストラクター資格更新研修会（本部主催） (3年に1回必須)	2.0
9月 5日(日) 13:30～17:30	活動記録の書き方講座 講 師：交流分析士インストラクター 富岡 達也	1.0
10月25日(土) 10:00～16:00	研修会：「交流分析の疑問を完全克服 ～TAを活かして豊かなキャリアデザイン～」 講 師：交流分析士教授 小林 雅美	1.0
11月14日(日) 10:00～16:00	研修会：「人間の心～TAは「悪」にどう向きあい支援できるか (仮題)」 講 師：門本 泉先生（少年鑑別所統括専門官）	1.0
11月29日(日) 13:30～17:30	研修会：「エゴグラムの読み方（応用編）」 講 師：交流分析士インストラクター 秋山 壽美雄	1.0
12月20日(日) 10:00～16:00	研修会：「TA マインドフルネス」 講 師：交流分析士准教授 井手之上 修	1.0
2月28日(日) 10:00～16:00	☆インストラクター定例会	1.0
3月 7日(日) 10:00～16:00	研修会：「自我状態の迷宮」 講 師：交流分析士准教授 下川 完平	1.0
2月20日(土) 10:00～16:00	☆インストラクター資格更新研修会（本部主催） (3年に1回必須) ※ 8/16と同じ内容です。8/16に受講済みで再度受講する場合 のポイントとは「1.0」となります。	2.0
特 別 セ ミ ナ ー		
10月 3日(土) 10月 4日(日) 10:00～16:00	講座：「本物の感情とラケット感情」 講師：鈴木 佳子先生(東京経済大学)	各 1.0

※ 受講証は発行いたしません。(出席簿と受講者各自の管理)

2019年度収支報告 および 2020年度収支予算 比較表

	(2019年度実績)	(2020年度予算)
収入総額	13,892千円	15,393千円
支出総額	19,737千円	13,865千円
収支差額	△ 5,845千円	1,528千円

I. 収支明細表

(単位:千円・%)

	2018年度		2019年度			2020年度	備 考
	実績額	予算額	決算額	予算差異	予算対比	予算額	
【収入の部】							
1. 割戻収入	2,038	2,600	2,136	-464	82.2%	2,600	年会費戻 @2,000
2. 事業収入	13,060	11,870	11,675	-195	98.4%	11,840	
①講座受講料	5,103	5,451	7,132	1,681	130.8%	6,500	資格講座
②研修受講料	3,178	2,621	2,332	-289	89.0%	1,040	各研修会 他
③認定受講料	4,231	3,798	1,945	-1,853	51.2%	3,600	認定試験
④TA資料収入	205	0	266	266	0.0%	500	書籍等 斡旋販売
⑤諸活動収入	343	0	0	0	0.0%	200	
3. 寄附金受入	0	0	0	0	0.0%	0	ストローク活動基金
4. 会員集会収入	0	753	0	-753	0.0%	753	
5. 雑収入	0	0	81	81	0.0%	200	
6. その他収入	0	0	0	0	-	0	
当期収入合計	15,098	15,223	13,892	-1,331	91.3%	15,393	
【支出の部】							
1. 事業活動費	7,239	4,137	8,349	4,212	201.8%	4,137	
①講座運営費	3,252	2,360	4,237	1,877	179.5%	2,360	会場使用料
②研修運営費	1,503	1,073	2,307	1,234	215.0%	1,141	講師料
③認定講座費	1,630	524	857	333	163.5%	456	資料印刷費 他
④TA資料費	682	20	948	928	4740.0%	20	本部仕入 支部作成費
⑤諸活動費	172	160	0	-160	0.0%	160	県別、諸活動、活動集
2. 事業管理費	9,166	9,824	11,388	1,564	115.9%	9,579	
①会員集会費	55	753	1,110	357	147.4%	663	会場使用料 資料費
②広報活動費	430	280	300	20	107.1%	140	HP、メルマガ、案内 他
③人件費	4,444	4,200	5,543	1,343	132.0%	4,200	事務職員給与 他
④会議費	123	200	141	-59	70.5%	200	運営委員会 他
⑤旅費交通費	1,218	1,100	1,267	167	115.2%	1,100	
⑥通信運搬費	353	300	316	16	105.3%	300	
⑦消耗品費	58	100	50	-50	50.0%	10	
⑧印刷費	103	10	98	88	980.0%	10	チラシ 他
⑨水道光熱費	251	280	250	-30	89.3%	280	
⑩賃借料	1,262	1,250	1,204	-46	96.3%	1,250	事務所賃料 他
⑪備品費	138	5	271	266	5420.0%	50	
⑫雑費	731	1,346	838	-508	62.3%	1,376	リース料 振込手数料 他
3. 寄附金支出	0	0	0	0	0.0%	0	ストローク活動基金
4. その他支出	0	0	0	0	0.0%	149	納税引当金
当期支出合計	16,405	13,961	19,737	5,776	141.4%	13,865	
当期収支差額	-1,307	1,262	-5,845	-7,107	-	1,528	
前期繰越額	13,916	12,609	12,609	0	100.0%	6,764	2019年度より
次期繰越額	12,609	13,871	6,764	-5,845	90.8%	8,292	2021年度へ

貸借対照表
(2020年03月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
現金	223	預り金	61
普通預金	5,770	源泉税	97
郵便振替預金	1,482	仮受金	97
保証金	468	小計	158
		正味財産の部	
		前期繰越正味財産	13,630
		当期正味財産増加額	-5,845
		小計	7,785
合計	7,943	合計	7,943

上記の通り、報告します。

2020年4月26日

関東支部・支部長 金沢 治子 ㊞

監査報告

関東支部・支部長 金沢 治子様

2019年度における当支部の収支決算を監査したところ、適正に処理されており、公正にして妥当なものと認めます。

2020年4月26日

監事 村越 章裕 ㊞

監事 江副 雄二 ㊞

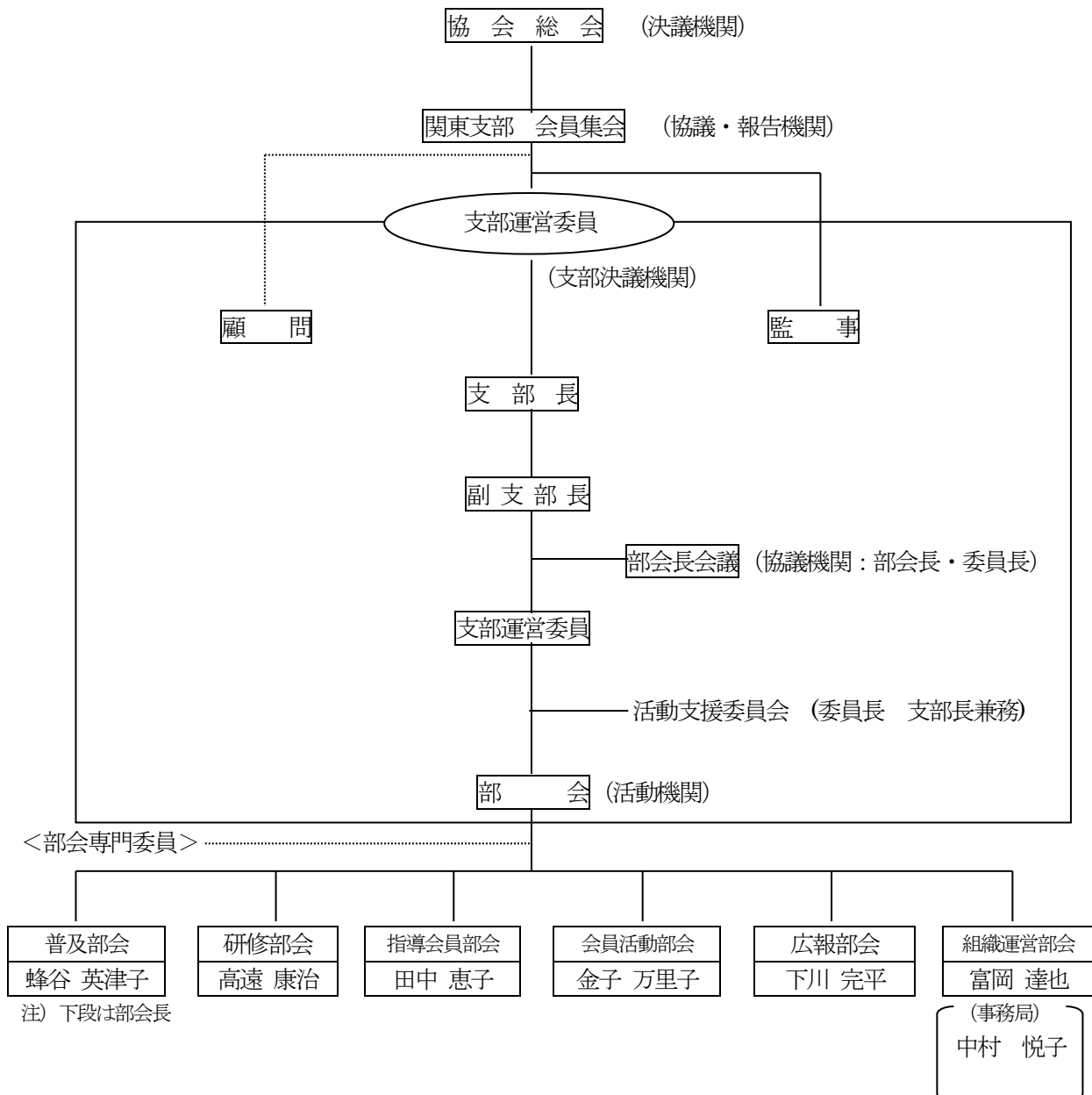
支部 運営委員・監事・顧問 名簿

【任 期 (2年間)】 2020年4月1日から2022年3月31日

【執行体制】 支部長 (金沢治子) 副支部長 (部会長兼務) 代表監事 (村越章裕)

<運営委員>	相原悦子	青木智子	秋山壽美雄	伊藤順一	大槻美奈子	奥田英二	
	金沢治子	金子万里子	木村光伸	小森洋幸	雑賀明良夫	佐々本良二	
	下川完平	高遠康治	田中恵子	丹あや子	富岡達也	蜂谷英津子	
	丸山昌志	三澤多恵子	矢崎義樹	渡部達巳			22名
<関 事>	村越章裕	伊東一郎					2名
<顧 問>	池上岩男 (准教授)	小川正治 (教授)	小林雅美 (教授)	下平久美子 (教授)			4名
(本部役員) 理事: 下平久美子 下川完平 金沢治子 監事: 井手之上 修							

2020年度 関東支部 機構図



関東支部 県別 資格別 会員数

1. 資格別会員数

	教授	准教授	インストラクター	1級	2級	会員	合計
東京都	2	6	75	111	74	21	289
	2	5	74	126	81	22	310
神奈川県	1	5	71	95	61	23	256
	1	6	66	109	58	25	265
千葉県	1	1	29	23	23	10	87
	1	1	26	27	24	11	90
埼玉県		1	22	19	17	7	66
		1	23	21	14	5	64
茨城県			15	18	16	1	50
			14	20	17	2	53
群馬県		1	14	11	14	1	41
		1	14	14	14	0	43
栃木県			8	20	19	2	49
			8	20	15	4	47
山梨県		2	5	12	5	2	26
		2	5	14	5	3	29
長野県		1	37	56	51	28	173
		1	37	46	59	24	167
計	4	17	276	365	280	95	1,037
	4	17	267	397	287	96	1,068
北海道			12	23	11	8	54
			12	21	14	8	55
合計	4	17	288	388	291	103	1,091
	4	17	279	418	301	104	1,123

注) 上段:2020年3月 現在
下段:2019年3月 現在

2. TAカレッジ・子育て支援士・TA心理カウンセラー

	TAカレッジ	子育て支援士	TA心理カウンセラー		TAカレッジ	子育て支援士	TA心理カウンセラー
東京都	5	8	12	栃木県	2	1	2
	2	7	—		1	0	—
神奈川県	5	6	11	山梨県	0	0	1
	3	5	—		0	1	—
千葉県	0	6	4	長野県	5	21	11
	0	7	—		3	23	—
埼玉県	3	0	1	計	23	46	45
	3	0	—		15	46	—
茨城県	3	1	1	北海道	3	3	1
	3	1	—		0	3	—
群馬県	0	3	2	合計	26	49	46
	0	2	—		15	49	—

注) 上段:2020年5月 現在
下段:2019年3月 現在